



Q コンソーシアムってどんな意味ですか？

A ひとことと言うと力を合わせ一緒になって物事を進める「協団体」という意味です。それぞれの大学が自分たちの得意分野を持ち寄って、魅力ある大学や地域づくりを目指そうという取り組みです。

Q 今なぜ大学コンソーシアムが必要なのですか？

A 人々の考えや行動がどんどん変化していくように、教育・研究という立場にある大学が共に結びつきを強め、大きな一つの総合大学と仮想して時代の変化の一步先を進もうという試みです。少子高齢化など大学を取り巻く環境が著しく変化してきていますが、それに伴い大学(高等教育機関)の役割も見直す必要があります。本コンソーシアムは少子化で受験者数が減少する中で魅力のある大学にするとか、知的資源を有効活用して地域に貢献するとか、個々でやるよりは協同して総合的に行う方が効果があがるような取組みを行っていきます。また、このことを通じて地域の知的基盤の充実にもつなげていきたいと考えています。

Q 大学生や高校生にどんなメリットがありますか？

A 大学生には、例えば自分の専攻以外に学びたいことをコンソーシアムに参加する他大学の講座で学べるようになります。単位の取得にもなります。高校生にとっては高校生向け講座の開設などがあります。

Q 一般市民にも関係があるのですか？

A 様々な事業体で開催されてきた生涯学習講座も地方公共団体との連携で系統立てられ、中身も充実されます。一方、社会人を対象としたリカレント講座を通じて、大学の先生からいろいろな講義を聞くことが出来ます。

Q 地域まちづくりにはどんなことを考えておられますか？


A とちぎの歴史や文化、自然などをとらえた「とちぎ学」を設け、市町村のまちづくりの企画などのお手伝いを行います。場合により、複数の大学の教職員と学生が関係市町村と一体となって支援していきます。

大学コンソーシアムとちぎ

www.consortium-tochigi.jp/

 **大学コンソーシアムとちぎ**

事務局：〒321-8505 宇都宮市峰町350(宇都宮大学内)
TEL 028-649-5666 FAX 028-649-5026

 **大学コンソーシアムとちぎ ロゴマーク**
組織が持つ多様な知的資源が産業界と、県民との連携により広く活用されることを願い、トキノキをモチーフに躍動感と繊細かつ動きのある線でご表現しました。

 **大学コンソーシアムとちぎ**

栃木の大学が

おもしろい

大学コンソーシアムとちぎとは…。
平成17年4月に結成され、スタートした栃木県19の高等教育機関による協団体です。



設立趣旨

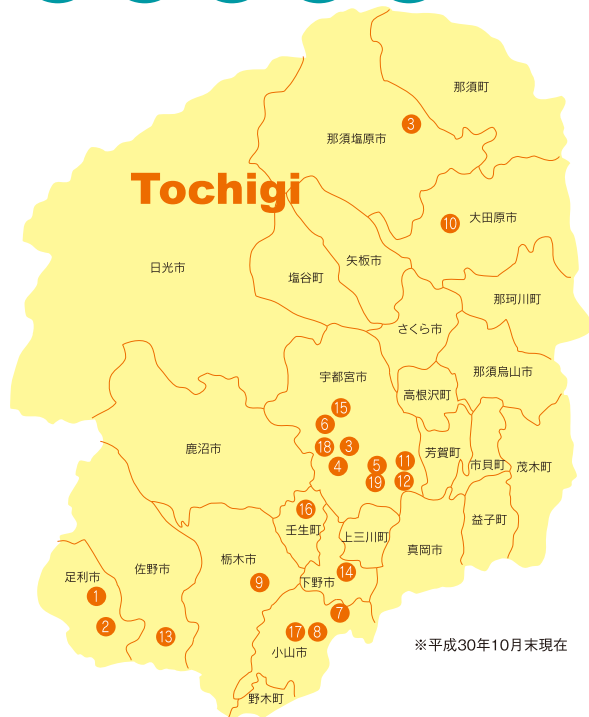
栃木県には19の高等教育機関が立地しており、それぞれが、特色を発揮し、教育・研究はもとより、多方面にわたり地域社会や産業界との連携に取り組んでいます。またそこには、2万2千を超える学生が学び、多くの学生が社会活動に参加しています。しかし、こうした実体は、必ずしも県民に周知されているとはいえません。

近年、産業構造の変化や情報化・国際化の進展する一方、急速に進む少子化や高齢化など、社会状況は大きく変化しています。このような状況にあって、地域における知識と文化の拠点としての高等教育の役割に大きな期待が寄せられているところであります。

栃木県下の特色ある大学が連携することで総合的な教育機能が果たせられると共に、大学等が持っている知的資源等と地域社会や産業界の多様な力と連携することで、新たな地域力を掘り起こし、自然豊かな栃木県に新たな魅力と活力をもたらすことは、翻って、大学の魅力や活性化にもつながっていくものと期待されます。

私たち高等教育機関は相互の連携・交流を強化し、各大学等の教育・研究を充実・発展させると共に、広く地域社会や産業界の活性化に貢献するため、「大学コンソーシアムとちぎ」を設立し、魅力ある栃木県づくりを目指します。

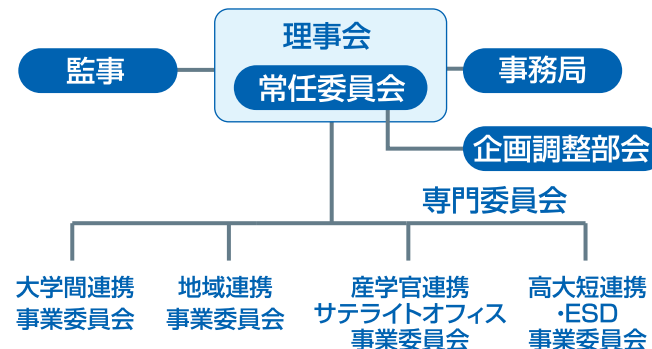
参加会員校



- | | |
|---------------|------------------|
| 1 足利大学 | 11 作新学院大学 |
| 2 足利短期大学 | 12 作新学院大学女子短期大学部 |
| 3 宇都宮共和大学 | 13 佐野日本大学短期大学 |
| 4 宇都宮短期大学 | 14 自治医科大学 |
| 5 宇都宮大学 | 15 帝京大学 |
| 6 宇都宮文星短期大学 | 16 獨協医科大学 |
| 7 小山工業高等専門学校 | 17 白鷗大学 |
| 8 関東職業能力開発大学校 | 18 文星芸術大学 |
| 9 國學院大學栃木短期大学 | 19 放送大学栃木学習センター |
| 10 国際医療福祉大学 | ※準会員 栃木県 |

※平成30年10月末現在

組織図



主な事業

●主催事業

- シンポジウム等開催
- グローバル人材の育成
 - ①共通科目の開講
 - ②海外留学等への支援
- PRパンフレットの作成

●大学間連携事業委員会

- 大学コンソーシアムとちぎ連携講座
 - ①オリジナル授業科目の実施
 - ②連携講座(単位互換)の推進
- 学生活動支援事業
- 大学を超えた共同研究支援事業

●地域連携事業委員会

- 「とちぎ学」「地域学」の推進
 - ①とちぎ観光資源活用研究会の開催
 - ②とちぎ観光講座、観光シンポジウム
- インターンシップの推進
 - ①環境整備(地域企業のリストアップ)
 - ②「キャリア形成支援推進協議会」との連携

●産学官連携サテライトオフィス事業委員会

- 企業技術相談
- 産学官連携支援、マッチング支援
- 学生&企業研究発表会開催(地域連携事業委員会と共催)
- 「とちぎキャンパスネット」の発行(地域連携事業委員会と協働)

●高大短連携・ESD事業委員会

- 高大短連携事業
 - ①県内大学進学説明会の開催
 - ②高校生向けのパンフレット作成
- 教職員研修
 - ①SD(スタッフデベロップメント)研修の開催
 - ②各構成機関の情報交換会の開催